

校内研修計画

甲州市立勝沼中学校

1 研究主題

学びを愉しむ生徒の育成

～自立した学習者へと導くための授業づくりを通して～

2 主題設定の理由

勝沼中学校では、甲州市夢をかなえる学びのプロジェクトに基づき、確かな学力と豊かな心を育成する教育を推進している。主体的・対話的で深い学びの実現には、質の高い授業と、生徒が安心して学べる学級づくりが不可欠である。

生徒を取り巻く環境が変化する中、多様な困難を抱える生徒への支援も重視する必要がある。WEBQU 分析や授業評価シートを活用し、生徒の実態把握と授業改善に繋げていく。校歌にある「学舎は常に愉しく」をキーワードに、生徒が学ぶ喜びを感じられる授業と学級づくりを目指す。

今年度は、リーディング DX スクール事業の指定を受け、GIGA スクール構想を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進していく。生徒一人ひとりの学びの過程を把握し、個別最適化された支援と相互啓発を促す授業実践を展開する。

これまでの授業観を転換し、全ての子どもの学力向上を目指し、指導力向上に努めていくために、この主題を設定した。

3 研究の具体的内容と方法

- (1) ICT の活用（各種アプリの活用を含め）
- (2) 学び舎タイムの計画・実施
- (3) CR T 検査や全国学力学習状況調査、県学力把握調査の分析及び指導の改善
- (4) 甲州市の共同取り組み（ティーチャーズノート活用、平和教育、心の羅針盤、授業の構造化）
- (5) 継続実践
 - ・ユニバーサルデザインを意識した学習環境づくり（掲示物やチョークの色等）
 - ・読書活動の充実（朝読書の実施）
 - ・家庭学習への取り組み
 - ・「WEBQU」の実施と分析及び活用

4 公開研究授業の実施

生徒の資質・能力の育成に向けて、ICT を最大限活用しながら、研究副主題である「自立した学習者へと導くための授業づくり」を実現するために、上記研究の具体的内容と方法を踏まえ、教科部会・学年部会などを有効に活用しながら、ブロック交流研究会や一人一実践での授業公開を行うこととする。また、今年度はリーディング DX スクール事業により、山梨大学より学校 DX 戦略アドバイザーの三井一希先生を招聘し、年間3回授業観察をしていただき、指導助言をいただく。

5 年間研修計画

月	日	曜	内容
4	10	木	第1回校内研究会 ①研究主題及び研究の柱・年間研究計画②朝読書③学び舎タイム等
	16	水	全国学力学習状況調査 生徒質問調査・理(3年)
	17	木	全国学力学習状況調査 国・数(3年)
5	14	水	ブロック交流研① 勝沼小授業参観・意見交流
	16	金	第1回教育講演会
	20	火	第1回WEB-QUアンケート実施 ～23日
	21	水	第2回校内研究会 子ども主体の授業づくり学習会
6	2	月	県学力把握調査(2年)
	9	水	第3回校内研究会 ①各学年でQU分析, アタックシート作成 ②教科分科会 (ア)生徒主体(複線型授業)を実践する単元の洗い出しと手立ての考察、 (イ)11月のブロック研での授業者決定
	18	水	学び舎タイム スタート[18(水), 19(木)]
	13	金	第4回校内研究会 学校DX戦略アドバイザー三井一希先生招聘 授業観察と今後の展開に向けてのアドバイス
	27	金	第2回 教育講演会
7	2	水	第5回校内研究会 QU分析による共通理解、LDX1学期の成果と課題および今後の方向性
8	20	水	第6回校内研究会 指導案検討
9	24	水	第7回校内研究会 学校DX戦略アドバイザー三井一希先生招聘 授業観察と今後の展開に向けてのアドバイス
10	14	火	第2回WEB-QUアンケート実施 ～17日
	22	水	第3回 教育講演会
	24	金	リーディングDX公開授業(祝小)
	29	水	第8回校内研究会 校務DX学習会
11	5	水	第9回校内研究会 ①第2回(11月)LDX公開授業の流れの確認と準備 ②学年でQU分析と アタックシート作成
	18	火	学び舎タイム[18(火)、21(金)]
	26	水	リーディングDX公開授業(兼 ブロック交流研②) 学校DX戦略アドバイザー三井一希先生招聘 公開授業・研究会・学習会
12	2	火	第4回 教育講演会
	3	水	第10回校内研究会 研究紀要原稿について
1	21	水	第11回校内研究会 ①1年間の研究の総括 学年部会 教科部会 ②研究紀要原稿に ついて (③CRT分析の共通理解)
			CRT検査(1・2年生)結果受領後、各教科で分析
2	4	水	第12回校内研究会 今年度の研究の成果と課題について(各部会での反省)
	17	火	学び舎タイム[17(火)、19(木)]
	25	水	第13回校内研究会 今年度の研究のまとめと来年度の方向性の検討

☆教育講演会4回

☆校内研究会・13回(QU分析を含む)

☆学び舎タイム・定期テスト前